

令和2年度 川崎市大山街道ふるさと館 第3回企画展

高札が語る幕末・明治維新期の二子・溝口

— 溝口村の「五榜の掲示」から —

ふるさと館に収蔵・展示されている高札「五榜の掲示 第一札、第五札」は、幕末・明治維新时期に新政府が立てたものです。この高札が立てられた場所、すなわち溝口村の高札場は、ふるさと館に近い現在の旧府中街道と大山街道との交差点にあったとされています。本企画展では、幕末・明治維新期のふるさと館周辺、二子・溝口の様子を知るこの高札に注目し、当時のこの地域がどのような状況であったのかをご紹介します。

第一章：溝口村の「五榜の掲示」

第二章：地図で見る幕末・明治の二子・溝口

「高札」とは？

江戸時代、日本各地には江戸幕府からの告知を民衆に伝えるための墨字の看板が立てられていました。それこそが、「高札」と呼ばれる資料です。



「五榜の掲示 第一札」(慶応4年3月)当館所蔵

表面



「五榜の掲示 第五札」(慶応4年3月)当館所蔵

裏面

最後の高札「五榜の掲示」

幕末になり、江戸幕府に代わって明治新政府が日本中に立てたのが「五榜の掲示」です。全五枚の内容にわたって新政府の方針を説いています。日本の多くの地域で、これが最後に立てられた「高札」となりました。

場所：大山街道ふるさと館
展示室

期間：2020年11月7日(土)
～2021年2月24日(水)
開館時間：午前10:00～午後5:00
休館日：12月28日(月)
～1月4日(月)

入館料：無料

主催：川崎市大山街道ふるさと館
川崎市高津区溝口3-13-3
TEL:044-813-4705
FAX:044-712-0034

企画展記念講演会

「五榜の掲示が語る
明治維新」

日時：2021年1月22日(金)
午前10:00～12:00

場所：大山街道ふるさと館
2階 イベントホール

講師：落合功氏

(青山学院大学経済学部教授)

参加費：500円

定員：30名

申込方法：往復はがき

※申込方法は裏面をご覧ください。

新型コロナウイルス対応のため、館内ではマスクを着用してください。また発熱、体調の悪い方はご来館をお控えください。